

令和 7 年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名： 河内長野市立障がい者福祉センター あかみね

指定管理者名： 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	S	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	S	S
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	S	S
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

２．収支報告

		予算	実績	単位:円		
		事業計画 A	事業実績 B	A-B	前年度実績	備考
収入	指定管理料収入	68,485,000	68,485,000	0	71,489,000	
	(市受託金収入)					
	障害福祉サービス等事業収入	35,262,000	24,029,791	11,232,209	25,232,789	
	介護保険事業収入	2,180,000	4,176,862	(1,996,862)	2,015,672	
	生活介護授産収入	1,000,000	1,021,214	(21,214)	988,771	
	寄付金収入	0	18,000	(18,000)	10,000	
	その他収入	100,000	121,050	(21,050)	112,600	
	前年度繰越金	6,665,000	6,665,912	(912)	6,003,565	
	収入総額	113,692,000	104,517,829	9,174,171	105,852,397	
支出	人件費（職員人件費）	80,136,000	80,459,538	(323,538)	71,019,827	
	事務費支出	23,599,000	25,900,759	(2,301,759)	24,610,073	
	(業務委託・保守料等)					
	事業費支出	2,292,000	2,217,529	74,471	2,445,603	
	(医師派遣費等)					
	生活介護授産支出	1,000,000	1,413,586	(413,586)	1,100,982	
	(工賃、材料費等)					
	その他支出	0		0	0	
	(負担金支出)					
	当期繰越金(次年度繰越金)	6,665,000	(5,473,583)	12,138,583	6,675,912	
	支出総額	113,692,000	104,517,829	9,174,171	105,852,397	
収支差額		0	0	0	0	

３．総合評価

自己評価

【サービスの提供関係】

○各種教室・クラブ、行事・大会等を実施し、障がい者の余暇活動や居場所としての機能の維持を図った。また、事業開催時および市内事業所を対象としたアンケート調査を実施し、寄せられた意見を集約のうえ、事業の見直しや今後の展開について検討し、次年度計画へ反映させた。さらに、今年度実施予定の行事・大会・事業等について職員間で情報共有を行い、円滑な事業実施に向けた調整を行った。

○年間を通じて、職員による「ふれあい広場 あかみね」および館周辺の草刈り、樹木の剪定、清掃作業を実施した。また、玄関先の花壇周辺および「ふれあい広場 あかみね」の花壇において、障がい者やボランティアと協働し、花苗の植栽を行った。

【施設などの維持管理関係】

○施設整備については、各設備、備品などが経年劣化による故障、破損等の為、修繕、取替が多数あったが、適宜修繕等を行い施設維持に努めた。

【労務状況】

○法人全体で研修計画を策定し、職員のスキル向上を目的に、虐待防止や権利擁護に関する外部研修へ参加するとともに、内部研修も実施した。これにより、職員の意識向上につなげた。

○市指定管理者第三者評価業務の現地調査（11月6日）が行われ、適切に対応を行った。

【危機管理】

○指定福祉避難所の設置・運営マニュアルに基づき、開所模擬訓練を実施し、利用者の避難誘導および災害発生時における指定福祉避難所の開所手順等について確認・実践を行った。併せて、指定福祉避難所である「キタバあかみね」の果たす役割について関係機関への周知を図った。

○利用者の安全確保を目的として、職員を対象に「防犯マニュアルに基づいた研修会」を実施し、不審者侵入やトラブルの未然防止策を学びとともに、発生時の迅速かつ適切な対応方法を確認した。

【個人情報】

○法人として制定している個人情報に関する方針（プライバシーポリシー）を職員研修などで随時確認し、個人情報の取り扱いに関する意識啓発および管理体制に取り組んだ。

【財務状況】

○経営をとりまく環境と経営状況を的確に把握し、流動性・健全性・収益性の確保ができるように法人全体で取り組み、適切な管理を行った。

【次年度実施する事業】

○「ふれあい広場」を活用し、障がい児・者を含む地域住民が参加できる事業を実施することで、センターの認知向上と相談機能への理解促進を図るため、イベントを継続的に開催する。

○障がい者の週末支援のあり方について調査を行い、その結果を踏まえて事業を再編するとともに、安心して過ごせる居場所づくりについて検討する。

○引き続き、改定した指定福祉避難所の設置運営マニュアルを活用し、「あかみね指定福祉避難所開設模擬訓練」を実施し、日頃の備えや災害に対する意識を高めるとともに行政と連携し、必要な物資や機材の備蓄の管理を行う。

市の評価

・協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理運営を、必要に応じて市と協議しながら実施していただきました。

・イベントなどの機会をとらえて実施したアンケート調査により、ニーズ把握を行っていただきました。

・施設などの維持管理について、老朽化した施設を随時協議しながら修繕し、利用者が安心して利用できる施設環境整備に努め、施設を維持することができました。また、施設の美化活動に力をいれ、コスト削減を意識した職員による清掃や整理整頓を行っていただきました。

・市の福祉避難所に指定されていることから、大規模災害が発生した場合における利用者の保護、市内から避難される障がい者への対応を両面から検討したうえで、市内で初めて福祉避難所開設訓練を実施しました。この際に、市内の福祉事業所や自主防災協議会の協力を得るなど関係機関・地域との連携を行っていただきました。

総合評価として、前年同様、適正に事業実施できていると認められます。施設の老朽化もあって、今後もさまざまな対応をしなければならないことがあると思われますが、適宜市と連携して適切に対応いただくようお願いします。